

授業科目(ナンバリング)	中国語 I B (AC116)			担当教員	韓 榮芝		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>この授業は、1 年次から初めて学ぶ「中国語 I A」に引き続き、2 年次で開講される「中国語 II A・B」と「中国語会話」の前段をなすもので、中国語学習の“入門”に当たる。従って、この授業の到達目標は次の通りである。</p> <p>①中国語で簡単な自己紹介ができる。 ②簡易な中国語の読み書きができる。 ③リスニングとスピーキングはスムーズにできる能力を見につける。</p> <p>これらを通して、次年度の中国語運用能力のアップにつながり、社会人として必要な幅広い教養やホスピタリティの精神を身につけてもらいたい。</p>							①③⑦⑧⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力	中国や中国語圏の国々の社会情勢を的確に把握することができる。				課題レポート	5%	
コミュニケーション力	授業で学んだ基礎中国語を用いて、中国人及び中国語圏の人々とコミュニケーションを図ることができる。				プレゼン 定期試験	20% 50%	
協働・課題解決力	積極的に中国や中国語圏の国々の歴史や文化に取り組むことができる。				出席カードコメント欄の内容	10%	
多様性理解力	基礎文法を理解し、表現(読み取り・書き)することができる。中国の文化などを理解し、互いに交流を深めることができる。				小テスト 課題レポート	10% 5%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験の成績を 50%とし筆記試験を行う（択一式、穴埋め式、50 点のうち 25 点以上を取得すること、など）。課題レポートは、11 回目に DVD で見た内容に関する課題を問う（課題レポートの成績を 10%とする）。授業毎に、中国語で出席を確認し、同時に書く練習や発音練習、グループワークや発表などを加え、授業への参加意欲を評価材料とする。</p> <p>授業の最終 2 回で中国語を用いて簡単な自己紹介文を作成し発表する（原稿なしで 1 人 2 分間、発表は 20%とする）。また、ポートフォリオの課題、レポート、小テストなどのフィードバックを授業で行う。ポートフォリオでも、課題などのフィードバックを行うので確認すること。なお、不適切な授業態度（教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話などの利用、居眠りなど）は、発覚した場合に減点の対象となる。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>基本的に教科書に従って授業を進める。授業中に極力 1 人ひとりに話してもらえよう時間を取り、スムーズに言えるようになるまで練習する。中国語 I A で学んだ発音や初級文法を確認しながら、より実践的な内容を進む。習ったことの定着を図るために、定期的に小テストを行う。簡単な自己紹介を発表できるように個別指導を実施する。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：教科書：野村邦近 [著] 『はじめての中国語』 株式会社ナツメ社 参考書：必要に応じ指示する 指定図書：教科書：野村邦近 [著] 『はじめての中国語』 株式会社ナツメ社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>将来、観光業界などで活躍するために、中国語の習得も条件の 1 つであろう。また、グローバル化が進んでいる今日、中国や中国語圏（シンガポール、マレーシアなど）の国々に対する理解においても重要な科目である。中国語で簡単なコミュニケーションができるようになることを期待している。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	ガイダンス	授業の進め方及びスケジュールを把握する	・シラバスを読む ・前期筆記試験の回答・復習
2	発音の復習	中国語 I A で学んだ発音などの復習	・CD1-17 の発音を聞き、発音の復習をする
3	基礎文法の復習	中国語 I A の定期試験の解答及び訂正を行う	・基礎文法の練習（配布した宿題を作成する）
4	動詞述語文	テーマにおける文法と基本構文の練習（グループワークで発音練習を確かめ合う）・発表（実践応用）	・CD2-13 の発音を聞き、動詞述語文について調べ、練習問題を作成する（宿題）
5	動詞・副詞・動詞使役用法	テーマにおける文法と基本構文の練習（グループワークで発音練習を確かめ合う）・発表（実践応用）	・CD2-14 の発音を聞き、使役用法について調べる ・練習問題の作成（宿題）
6	反復動詞疑問詞・選択疑問詞・数字疑問詞	テーマにおける文法と基本構文の練習（グループワークで発音練習を確かめ合う）・発表（実践応用）	・CD2-15 の発音を聞き、疑問詞の種類を調べ、宿題の作成
7	特殊な動詞	テーマにおける文法と基本構文の練習（グループワークで発音練習を確かめ合う）・発表（実践応用）	・CD2-16 の発音を聞き、特殊な動詞について調べ（宿題）
8	存在、方位詞	テーマにおける文法と基本構文の練習（グループワークで発音練習を確かめ合う）・発表（実践応用）	・CD2-18 の発音を聞き、存在、方位詞の練習（宿題）
9	前置詞、程度補語	テーマにおける文法と基本構文の練習（グループワークで発音練習を確かめ合う）・発表（実践応用）	・CD2-19 の発音を聞き前置詞、程度補語の練習（宿題）
10	主語述語文	テーマにおける文法と基本構文の練習（グループワークで発音練習を確かめ合う）・発表（実践応用）	・CD2-20 の発音を聞き主語述語文の練習（宿題）
11	能願動詞・助動詞	テーマにおける文法と基本構文の練習（グループワークで発音練習を確かめ合う）・発表（実践応用） DVD で中国の実情について	・CD2-21 の発音を聞き能願動詞の練習（宿題） ・課題レポートの作成
12	挨拶文の総まとめ	テーマにおける挨拶的な表現の総合練習・発表	・配布資料の講読、暗唱する
13	自己紹介文	基礎文法と基本構文を取り入れた自己紹介文の練習（実践応用）	・自己紹介文の作成、発表準備
14	自己紹介	自己紹介文に沿った発表（実践応用）	・テストの準備
15	まとめ	前期の学習内容の振り返り、重要な文型と表現などの総復習及び確認 練習問題の質疑応答・模擬テスト	・文法の総まとめ（宿題） 定期試験の準備
16	定期試験	筆記試験	・定期試験の準備

授業科目(ナンバリング)	中国語 I B (AC116)			担当教員	※張 美玉		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音と言われている。大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎となる初級文法知識・実生活においてよく使われる表現をしっかりと身につけることや中国文化への理解を深めることを目指す。							①②③ ⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 基本的な初級文法や語彙を習得し日常的な会話表現を身につける。 日本中国語検定試験準4級を目指す。 				定期試験	15%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> 中国(語)に関連する情報の収集に積極的に取り組むことができる。 様々な情報収集ツール(辞書、ネット等)を活用することができる。 				課題レポート	10%	
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声で積極的に会話練習や短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと固め、既習知識を活かし、中国語でコミュニケーションをとることができる。 				小テスト 定期試験	20% 20%	
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の様々な活動に積極的に参加することができる。 中国(語)への理解を深めるために、他人(教師や学生同士など)と積極的に交流することができる。 				授業態度・授業への参加度	10%	
多様性理解力	<ul style="list-style-type: none"> 言語：日中両言語の異同を少しでも理解することができる。 非言語：漢語圏の社会、文化に関心を持ち、多様性に対する理解を深めることができる。 				定期試験 課題レポート	15% 10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> 定期試験の成績を50%とし、筆記試験で既習した知識の習得状況を確認する。(教科書や資料などの持ち込み不可) 課題を20%とし、課題提出状況によって評価する。 小テストの成績を20%とし、毎回の授業で前回の内容を習得したかを確認する。(第1回目の授業を除く) 授業態度及び授業への参加度の成績を10%とし、遅刻欠席回数や授業への参加度合などを基準に評価する。 							
※ 小テスト、口頭練習などについては、授業でフィードバックを行う。							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> 資料：教科書を基本資料とし、導入イラスト、カード、プリントなどを補助資料として授業を行う。 進め方：「復習>新出単語・本文>文法解説>ドリル>答疑」の流れに従う。(変わる時もある) 目標：①中国語の音声表記を完全マスターする ②入門レベルの文法と表現を習得する ③簡単な会話ができる。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。 							
教科書・参考書							
教科書：『ポイントマスター・初級中国語』楊曉安(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書 参考書：特になし。適宜授業中に指示する。 指定図書：『ポイントマスター・初級中国語』楊曉安(同学社)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> 中国語の発音を正確に身につけるために、教科書のCDを聞きながら実際に声を出して練習すること。 予習と復習をすること(授業で習ったことを必ずその日のうちに復習する。そして最後にその日の学習の総仕上げとして「宿題」を完成してください)。また、時間の余裕があれば、次に学習する課の語彙と文法を見ておく。基本的な準備をしておけば、次の学習が効率的にできる。 学んだ中国語を使って、中国人に話かけてみてください。習ったことをすぐ使ってみるという習慣をつけること。 教科書以外の資料も活用すること。(例：参考書、辞書、歌、NHK、テレビ・ラジオ番組など) 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	第 11 課 『立图书馆在哪儿?』	文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量	予習：教科書 p. 50～53 復習：前期の既習内容
2	第 12 課 『你会开汽车吗?』	文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文	予習：教科書 p. 54～57 復習：存在動詞・方向や位置を表す語・指示代名詞 2
3	第 13 課 『你打算去哪儿?』	文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」	予習：教科書 p. 58～61 復習：助動詞「会」「能」「可以」・連動文
4	第 11 課～13 課までの復習	「有」と「在」・“这里、这儿;那里、那儿;哪里、哪儿” / 量・「能」「可以」 / 連動文・「想」・「喜歡」・「打算」	予習：教科書 p. 50～61 復習：第 11 課～第 13 課 単元復習
5	第 14 課 『你看过三国演义吗?』	文法：アスペクト助詞「了」「着」「过」	予習：教科書 p. 62～65 復習：「有・在」・場所指示代名詞・「能・可以」・連動文・「想・喜欢・打算」
6	第 15 課 『明天几点出发?』	文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」	予習：教科書 p. 66～69 復習：助詞「了」「着」「过」
7	第 16 課 『你家离学校远吗?』	文法：介詞「从」「到」「离」 / 「多～」	予習：教科書 p. 70～73 復習：時刻と時点と時間量・選択疑問文・介詞「在」
8	第 14 課～16 課までの復習	「了」「着」「过」・時刻の言い方・選択疑問文・「在」 時点と時間量・「从」「到」「离」 / 「多～」	予習：教科書 p. 62～73 復習：第 14 課～第 16 課 単元復習
9	第 17 課 『今天特别热』	文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」	予習：教科書 p. 74～77 復習：「了・着・过」・時刻の言い方・選択疑問文・介詞「在・从・到・离」
10	第 18 課 『桌子有一本汉语课本』	文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞	予習：教科書 p. 78～81 復習：比較の表現・「有点儿」と「一点儿」
11	第 17 課～18 課までの復習	比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」 二重目的語 / 存現文 / 疑問詞	予習：教科書 p. 74～81 復習：第 17 課～第 18 課 単元復習
12	第 19 課 『你的房间真干净』	文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」	予習：教科書 p. 82～85 復習：比較の表現・二重目的語・存現文・疑問詞
13	第 20 課 『老师让他去图书馆了』	文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听说	予習：教科書 p. 86～89 復習：“把”構文・受身の表現・変化を表す「了」
14	第 19～20 課までの復習	“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」 使役の表現 / “再”と“又” / 听说	予習：教科書 p.82～89 復習：第 19 課～第 20 課 単元復習
15	第 11 課～第 20 課まで 総復習	後期授業内容の復習	復習：第 11 課～第 20 課
16	定期試験	筆記試験	定期試験の準備

授業科目(ナンバリング)	中国語 I B(AC116)			担当教員	※井上 麗奈		
展開方法	講義	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本講義は、前期開講した中国語 I A を履修したことを条件とする。日常会話や基礎文法を習得したうえ、より難易度が高い語彙、文法、発音などの中国語を学習する。また、長文の読み、翻訳、作文を書くことができ、様々な場面においてのコミュニケーションができることを目標とする。さらに、具体的な場面を通して、中国の文化、歴史、習慣、流行などを知ることによって、異文化への理解がより一層を深めることができる。また、後期終了時には中国語の検定である HSK (漢語水平考試) 2 級に合格ができる。							①②⑧⑨⑩⑪
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> 長文の読みや翻訳、作文の作成ができる 様々な場面において、コミュニケーションができる 				中間試験	20%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> 中国の文化や歴史、習慣など深めることができる。 中国の流行について理解することができる。 				課題レポート	5%	
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> 自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。 自分の意思をより適切な言葉を使って相手に伝えることができる。 				<ul style="list-style-type: none"> 発表 小テスト 	20% 20%	
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> 中国および漢字圏の中国語の表現を理解することができる。 中国語の検定、HSK (漢語水平考試) 2 級に合格できる。 				授業態度・授業や演習への参加度	5%	
多様性理解力	中国語を学び、中国の方とコミュニケーションの取り方、異文化への理解ができる。				定期試験	30%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
小テスト(20%)は不定期に行い、主に学習した単語や文法とする。中間試験(20%)は、第 8 回目に 1 回行う。学習した基礎知識、授業内容の理解度の確認を主とする。定期試験(30%)は、筆記試験とし、教科書や資料等の持込み不可。課題レポート(5%)授業中に指示し、提出後添削を行い、翌週にフィードバックする。未提出者や再提出が必要な場合、提出日を指定する。発表(20%)は、授業中に指示する。主に、発音の確認とする。授業態度・授業や演習への参加度(5%)は、出席回数や授業中の私語などで評価する。							
授業の概要							
この授業は、中国語の基礎である声調やピンインを習得したうえ、日常会話を身につくと同時に、中国の文化や歴史、などを理解することができる。授業では、教科書を使うほか、絵カード、パワーポイント、カードゲーム、音楽、映像を取り入れる。また、中国語の検定である HSK (漢語水平考試) 1 級に合格するためのアドバイスやサポートをする。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。							
教科書・参考書							
教科書：吉田泰謙・相原里美・葛婧著(2013)『知っておきたい中国語事情』 白水社							
参考書：張乃方(2006)『中国語実習コース』 白水社							
指定図書：張乃方(2006)『中国語実習コース』 白水社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> 教科書は必ず購入してください。 積極的に授業に参加し、不定期に小テストを行うので、毎回復習・予習を必ず行って下さい。前期終了時には中国語の検定、HSK (漢語水平考試) 1 級を受験し、就職などに役に立ててください。また、検定を一つの目標にし、学習を積極的に取り込んで下さい。 授業中の私語、居眠り、理由のない遅刻、欠席、途中退室は認めません。認めません。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション ・授業の進め方、履修するにあたり、注意事項や心構えについて説明する。	・授業の流れについて簡単な説明 ・声調、ピンイン発声、についての再確認	復習：中国語ⅠAで学んだことを再確認する
2	大学生的周末	中国の大学生の学校生活や週末の過ごし方について学ぶ	予習：本文を朗読する 復習：新出単語と文法を再確認する
3	北京的交通	現在の北京の交通手段と交通事情について学ぶ	予習：本文を朗読する 復習：新出単語と文法を再確認する
4	中国人的主食----北方和南方	中国の食文化、北地方と南地方の違いについて学ぶ	予習：本文を朗読する
5	对数字的喜好	中国人が好む数字とその由来について学ぶ	予習：本文を朗読する 復習：新出単語と文法を再確認する
6	大学生的“打工”现状	中国の大学生のアルバイト事情とその現状について学ぶ	予習：本文を朗読する 復習：・新出単語と文法を再確認する ・中間テストの勉強
7	中間テスト	第1回目から第5回目までの内容をテストし、答え合わせ、解説を行う	予習：本文を朗読する 復習：間違った問題を再確認する
8	集体生活的好处	集団生活のメリットについて学ぶ	予習：本文を朗読する 復習：新出単語と文法を再確認する
9	在北京购物	買い物に必要な用語、北京で買い物する際の値引き交渉について学ぶ	予習：本文を朗読する 復習：新出単語と文法を再確認する
10	送礼的讲究	プレゼントを贈るときの注意事項について学ぶ	予習：本文を朗読する 復習：新出単語と文法を再確認する
11	“中国式”的结婚	中国の結婚事情について学ぶ	予習：本文を朗読する 復習：新出単語と文法を再確認する
12	双职工家庭	共働き家庭の現状と日本との違いについて学ぶ	予習：本文を朗読する 復習：新出単語と文法を再確認する
13	中国人的称呼-----辈分和面子	中国人の間での呼称、長幼の順序、同世代間の違いについて学ぶ	予習：本文を朗読する 復習：新出単語と文法を再確認する
14	大学生心目中的理想职业	大学生が理想と思う仕事、現在の就職事情について学ぶ	予習：本文を朗読する
15	総まとめ	今まで学んだ購読文を総まとめする	プリントやノートを整理、確認する
16	定期試験		